

第 66 回通常総会を開催し、全議案を可決しました

日時：6月24日（火）10時～10時56分

会場：オルガホール（岡山市北区）

岡山県生活協同組合連合会第66回通常総会は、代議員総数46名中46名（実出席35名、書面出席11名）が出席、11会員生協中11会員が出席し、2024年度事業報告・決算、2025年度事業計画・予算、役員選任、役員報酬上限決定の4議案全てが賛成多数で可決されました。



開会にあたり、平田昌三会長理事から挨拶があり、激甚化する自然災害に生協が役割発揮してきたこと、戦後80年の年に平和に力を入れたいこと、合わせて婦人参政権も80年の節目であることに触れました。改めて平和や権利は主張し続けないと続かないことを認識し、国際協同組合年を機に、生協間の連帯と地域とのつながりを追求していきましょう、と呼びかけました。

来賓として、岡山県県民生活部くらし安全安心課課長 大村伸枝様、日本生協連中四国地連事務局長 岡崎英輝様にお越しいただき、伊原木県知事からのメッセージと祝辞をいただきました。

議案の一括提案後の議案討論では、3名の代議員から、学生による運営や地域団体との協働、平和の取り組みについて発言がありました。

- ・就実生協 藤田 理緒さん
「就実生協活動報告 By 就実生協 s e e d S」
- ・おかやまコープ 能勢 幸子さん
「おかやまコープ『常設型フードドライブ』の取り組み報告」
- ・倉敷医療生協 青木 裕人さん
「日本国憲法第九条の碑建立とその後の取り組みについて」



大村課長



岡崎事務局長



藤田さん



能勢さん



青木さん



総会終了後に第1回理事会が開催され、新たな代表理事会長理事として田中照周理事が就任したこと、副会長理事と常務理事の紹介がありました。

退任した平田前会長には花束が贈呈され、平田前会長からは、コロナ禍で大きな影響を受けた生協に対し生協間で支援しようという活動が印象的だった、との挨拶がありました。

←新体制を発表する田中新会長

≪役職員学習会≫「消費者問題の新たな局面とリスク、その対応について」

総会終了後、特定非営利活動法人 適格消費者団体 消費者ネットおかやまの理事・事務局長の赤澤 佳世子氏による学習会を行いました。AIによる情報収集など急激に変化するネット広告の動向や特殊詐欺被害額の急増、消費者法制が弱い日本が世界中からターゲットにされていること、などが紹介され、生協の力で学習を広め、発信力を高めることで消費者の未来を明るくすることにつなげようという、期待のメッセージが送られました。

